

(様式第4号)

くまもとCひと・まち・いきもんネットワーク活動報告書

平成31年3月25日

熊本市長 様

報告者 住所 熊本県上益城郡益城町寺中1363-1

氏名 公益財団法人再春館「一本の木」財団  
理事長 葉玉 匡美 印

くまもとCひと・まち・いきもんネットワーク制度要綱第5条の規定により、くまもとCひと・まち・いきもんネットワーク活動報告書を提出します。

ふりがな		こうえきざいだんほうじんさいしゆんかん いっぼんのき ざいだん		登録番号	1号
団体名		公益財団法人再春館「一本の木」財団			
代表者	職名	理事長		所属	<input type="checkbox"/> 市民活動団体
	ふりがな	はだま まさみ			<input type="checkbox"/> 事業者
	氏名	葉玉 匡美			<input type="checkbox"/> 学校
				<input type="checkbox"/> 行政機関	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (公益財団法人)
内容		【活動名】再春館一本の木キッズクラブ (熊本市内) 【日時】平成30年4月15日 (日) 春の江津湖生きもの観察会 平成30年8月5日 (日) 夏の江津湖生きもの観察会 平成30年10月28日 (日) 秋の江津湖生きもの観察会 平成31年1月20日 (日) 冬の江津湖生きもの観察会 平成31年2月11日 (日) 生きもの観察会まとめ 平成31年3月10日 (日) 発表会・修了式 【場所】上江津湖・熊本市青年会館、熊本市国際交流会館 【参加人数】再春館一本の木キッズクラブ 31名 学生ボランティア 21名 自然観察くまもと 13名 財団スタッフ 4名 【活動内容等】 (上記の詳細と熊本市外の2つの活動内容については別紙のとおり)			
(活動名、日時、場所、参加人数、活動内容等)		【活動名】親子の自然体験学習会①阿蘇の野草観察と草原体験 【日時】平成30年11月10日 (土) 【場所】南阿蘇ビジターセンター 村山牧野草原 【参加人数】熊本市周辺の親子47名  【活動名】親子の自然体験学習会②荒尾干潟の野鳥観察会 【日時】平成30年12月8日 (土) 【場所】荒尾干潟 荒尾市中央公民館 【参加人数】熊本市周辺の親子52名 荒尾干潟ジュニアレンジャー6名  【活動内容等】 (上記2つの親子の自然体験学習会の詳細は別紙のとおり)			

- ・記入欄が足りない場合、この用紙をコピーして記入してください。
- ・活動報告書の記載事項を満たす内容であれば、別様式でも活動報告書とみなすことができます。

# 1. 再春館一本の木キッズクラブ

未来を担う子供たちが熊本の豊かな自然の中で生きものに触れ合うなど、自然の大切さを学習するクラブです。熊本市の江津湖で四季の観察を行うと共に、上天草や阿蘇といった熊本を代表する生物豊かな自然環境を学習しました。

再春館一本の木キッズクラブ クラブ員 31名  
協力：自然観察指導員熊本県連絡会 13名  
ボランティア（中・高・大学生等） 21名  
後援：熊本県、熊本市



## 【平成30年度 日程】

クラブ活動開催日	場 所	内 容
4月15日（日）	熊本市（上江津湖周辺）	春の生きもの観察会 ①一本の木の観察②野鳥観察
7月15日（日）	上天草市（天草ビジターセンター・永浦島の干潟）	ハクセンシオマネキ観察会
8月5日（日）	熊本市（上江津湖周辺）	夏の生きもの観察会 ①一本の木の観察②水辺の観察
9月9日（日）	阿蘇市（阿蘇火山博物館）	阿蘇の草原学習
10月28日（日）	熊本市（上江津湖周辺）	秋の生きもの観察会 ①一本の木の観察②水辺の観察
1月20日（日）	熊本市（上江津湖周辺）	冬の生きもの観察会 ①一本の木の観察②野鳥観察
2月11日（月・祝）	熊本市（上江津湖周辺）	生きもの観察会まとめ
3月10日（日）	熊本市（国際交流会館）	発表会・修了式



## ①四季を通した江津湖の観察会

熊本市が平成 28 年 3 月に作成した生物多様性戦略で、未来に残したい熊本の自然に選定されている「江津湖」。身近な動植物、希少な動植物、外来生物など生物の多様性が観察できる場所です。

今年度は 6 班編成で、班で決めた一本の木を 1 年間を通して観察し、夏と秋は水辺・水中の生き物観察、春と冬は野鳥の観察を行いました。

場所：上江津湖、熊本市青年会館研修室（熊本市）

### 【ボク・わたしの一本の木】

班で 1 つの木を選んで、春・夏・秋・冬の木の変化を観察しました。



木にいる生きものを観察



木の実を使った竹でっぼう



木の上の生きもの探し

### 【水辺・水中の生き物観察】

夏と秋にどんな生き物がいるか観察しました。



湧水が湧き出る場所の深さを調べる



カニを初めて捕まえたよ



採取した生きものの名前調べ

### 【野鳥の観察】

双眼鏡を使って春と冬の野鳥の姿を観察しました。



春の野鳥は見つかるかな



フェンスの上のカワセミ見えるかな



冬の野鳥、春とどう変化したかな

## 発表会・修了式

2月に1年間江津湖で観察した成果をボードにまとめ、3月に1班（低学年）から6班（高学年）が保護者の前で発表しました。その後、キッズクラブの平成31年度修了式を行いました。

参加者：保護者ほか 90名

場所：熊本市国際交流会館大広間A・B（熊本市）

### 【発表会・修了式の様子】



1班（1年生も大きな声で発表できました）



2班（メモを見ることなく堂々と発表できていました）



3班（コサギの餌取りを実演）



4班（イチョウの木について詳しく調べていました）



5班（葉っぱのトランプなど面白い視点で調べていました）



6班（会場を巻き込んだクイズ大会）



キッズ1人1人に修了証書を授与しました



ボランティアのお兄さん、お姉さんに御礼



最後はみんなで記念撮影

## ②天草の生きもの学習とハクセンシオマネキ観察会

午前是天草ビジターセンターで天草の海や植物、鉱物の学習を行い、貝がらを使ったキーホルダーを制作しました。午後からは熊本大学の逸見教授の指導により永浦島の干潟でハクセンシオマネキ（カニ）の観察を行いました。

後 援：環境省九州地方環境事務所、熊本県、上天草市

協 力：熊本大学、熊本県天草ビジターセンター

場 所：熊本県天草ビジターセンター、永浦島の干潟（上天草市）

参加者：再春館一本の木キッズクラブ 22名、ボランティア 14名



天草の海や鉱物、植物について学習



貝殻キーホルダーの作成



皆の個性が広がる貝殻キーホルダー



干潟に出てカニの観察



熊本大学逸見教授がカニについて詳しく解説



みんなでピース

### ■子供たちと学生ボランティアの感想 ■

- ・ハクセンシオマネキがたくさんとれてよかったです。またひがたにいてみたいです。
- ・こんどはシオマネキのダンスを見てみたいです。また貝がらキーホルダーをつくりたいです。すなはまにいったいあながあって、そこからかにがでてきました。いろんないきもの、しょくぶつ、石があってまぐろ石とかやまんばのかみの毛、へくそかずらとかいろいろなものをはじめてみました。さかなもいて、とてもひろかったです。
- ・初めてボランティアで参加して最初は不安があったり、緊張していたけど、じょじょに班のみんなとうちとけることができ、とても楽しくすごすことができた。これからの活動も楽しみながら頑張りたい。
- ・私は子どもとふれあったり、遊んだりするのが得意ではなく、この日がとても不安でした。実際に体験してみると、たのしいことばかりで参加して本当によかったと思います。
- ・今日はキッズクラブの活動1日目でした。初めてだったので少し不安もありましたが、最初のストラップ作りから楽しくて不安もなくなりました。いろいろなカニを観察したり、つかまえたりと普段できないこともできて本当に良い体験ができました。

### ③草千里の生きもの観察と阿蘇火山博物館

生憎の雨で午前は阿蘇火山博物館内で阿蘇の火山や自然環境を学習し、小麦粉と風船を使ったカルデラ形成実験を行いました。午後からは小雨になったので草千里に出て生きもの観察を行いました。アマガエルやオオセンチコガネなどの糞虫、サイヨウシャジンやワレモコウなどの植物を観察できました。

後援：熊本県、阿蘇市

協力：環境省九州地方環境事務所阿蘇くじゅう国立公園管理事務所  
(公財)阿蘇火山博物館久木文化財団

場所：阿蘇火山博物館、草千里(阿蘇市)

参加者：再春館一本の木キッズクラブ 28名、学生ボランティア 18名



博物館内を見学



カルデラ形成実験



草千里に出て生きもの探し



草原の生き物探し



糞虫探し



みんなでハイチーズ!

#### ■子供たちと学生ボランティアの感想 ■

- ・カエルをはじめつかまえた。平泳ぎさせてみた。イメージとちがった。かわかった。おなかをさわったらおとなしくなった。
- ・山のなかにあんなにきりがあるんだなぁと思いました。
- ・霧で真っ白な草千里は行ったことがなかったので、新鮮でとても楽しかったです。アザミも生で初めて見たので感動しました。
- ・カルデラ形成の実験をはじめてみた。噴火して最終的に巨大なカルデラになったので、すごく感動した。そして、フンの中に昆虫が住んでいることに驚きました。
- ・初めて草千里に来たので、すごくわくわくしました。前よりも子供たちと仲良くなれたのでうれしかったです。機会があればまた参加しようと思います。

## 2. 親子の自然体験学習会

親子で阿蘇や荒尾など熊本を代表する山や海などの自然環境について体験し、学ぶ、自然体験学習会です。

### ①阿蘇の野草観察と草原体験

熊本の県花であるリンドウやウメバチソウ、ヤマラッキョウなど草原に咲く野草の観察や、すすきの中に入ってカヤネズミの巣を探しました。午後からはドングリのキーホルダーやヤブツバキの種子を使った笛、葉っぱの絵手紙などクラフト体験を行いました。

後援：熊本県北広域本部阿蘇地域振興局、高森町

協力：九州地方環境事務所阿蘇くじゅう国立公園管理事務所、休暇村南阿蘇、南阿蘇ビジターセンター、村山牧野組合、阿蘇地区パークボランティアの会

日時：平成30年11月10日（土曜日）10：00～15：00

場所：南阿蘇ビジターセンター、村山牧野草原（高森町）

参加者：熊本市周辺の親子47名

【午前】野草園や草原に出て野草観察！！何がみつかるかな？？



野草園での観察



草原でのヤブこぎ



カヤネズミの巣を見つけたよ！！

【午後】南阿蘇ビジターセンターでクラフト体験。上手にできたかな。



葉っぱやドングリを拾ったよ！



クラフト体験



みんなで記念撮影！！

#### ■参加者の感想■

- ・お弁当が美味しかった。笛やドングリ工作が楽しかった。すすきの中もおもしろかった。
- ・すすきの中を歩いたのが、とても楽しかったです。クラフト体験も、絵手紙をはじめてやって、木の枝のペンがおもしろかった。また、ぜひ参加したいと思います。
- ・すごく楽しくて、すすきの中の景色がもう感動でした。なかなかもう見られなくなっているの、残していかなきゃいけない自然風景だなあと感じました。

## ②荒尾干潟の野鳥観察会

2012年7月3日に、水鳥の生息地として重要な湿地としてラムサール条約湿地に登録された荒尾干潟。この生物豊かな干潟にやってくる冬鳥たちの観察と海岸に捨てられたゴミの回収を行いました。午後からは荒尾干潟ジュニアレンジャーから荒尾干潟のことや活動内容について発表がありました。また、貝殻を使ったフォトフレーム作りや観察した野鳥を描いてフォトフレームに飾りました。

後援：熊本県、荒尾市

協力：日本野鳥の会熊本県支部、荒尾干潟保全・賢明利活用協議会、荒尾漁業協同組合

日時：平成30年12月8日（土曜日）10：00～15：00

場所：荒尾干潟・荒尾市中央公民館（荒尾市）

参加者：熊本市周辺の親子52名、荒尾干潟ジュニアレンジャー6名

【午前】荒尾干潟での野鳥観察。野鳥は見つけれられたかな？



22種の野鳥が観察できました



観察後は海岸清掃



たくさんのゴミを拾いました

【午後】荒尾干潟ジュニアレンジャーの発表、クラフト体験。



荒尾干潟ジュニアレンジャーの発表



クラフト体験



完成した貝殻フォトフレーム

### ■参加者の感想■

- ・荒尾干潟での野鳥観察は楽しかったです。貝がらフォトフレームは大きい貝がらをあまりつけずスッキリとしたしあがりになりました。野鳥のおえかきはシロチドリをかきました。野鳥が22種類もいてびっくりしました。
- ・いろんな野鳥を見つけてとても楽しかったです。野鳥のお絵かきがうまくいってよかったです。楽しかったです。
- ・やせいの鳥のかんさつもできたり、貝がらフォトフレームや野鳥のおえかきなども楽しかったです。
- ・野鳥をしっかり観察したのは子供の時以来で、とっても楽しかったし勉強になりました。寒かったです。ゴミ拾いをしてポカポカになり、私では教えられない経験をさせられて良かったです。ビンゴもあったので、子供も一生懸命に探していました。フォトフレーム作りも親子で出来て、とても楽しかったです。ありがとうございました。